

# 令和2年第4回大河原町教育委員会定例会会議録

1 招集日時 令和2年4月17日(金)

2 招集場所 大河原町役場 第4会議室

3 出席委員 舟山幸枝委員、一盃森広志委員、丹羽宜博委員、小山明子委員、鈴木洋教育長

4 説明のため出席した者

教育総務課長 佐藤勝弘、生涯学習課長 八島良隆、学校教育専門監 山家一博

5 開 会 午後2時

6 令和2年第3回教育委員会定例会議事録の承認について

鈴木教育長 | (委員全員に諮って) 承認する。

一盃森委員、小山委員 署名。

7 教育長報告

(1) 一般事務報告について

報告第22号 令和2年度町立小中学校児童生徒について

教育総務課長が説明する。

鈴木教育長 (委員全員に諮って) 承認する。

報告第23号 令和2年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について

教育総務課長が説明する。

鈴木教育長 (委員全員に諮って) 承認する。

生活保護世帯は変わらないが、準要保護は20人増えている。従前地でも要保護の支援を受けている世帯が転入し、そのまま支援を受けている。

報告第24号 児童及び生徒の災害給付に係る共済掛金の徴収に関する規則について

教育総務課長が説明する。

鈴木教育長 (委員全員に諮って) 承認する。

一盃森委員 | 次回まで、なぜ450円になったのか。

舟 山 委 員 | 2条の生活保護者、要保護者の表記がわかりづらい。

## (2) 専決事務報告

なし

## 8 議 事

### 議案第 14 号 大河原町立学校評議員の委嘱について

教育総務課長が説明する。

鈴木教育長 （委員全員に諮って）承認する。

## 9 その他

### (1) 教育長報告

#### 管理職新体制

校長 1 名、教頭 3 名、学校教育専門監が新しく着任した。

#### 令和 2 年度のスタートについて

臨時休業措置により、子供達がストレスを抱えているが、登校にあたっては子供の思いを受け止めて欲しい。

#### 子供たちと直接か関わる先生方へお願いしたいこと

学習環境の整備、授業の準備をしておいて欲しい。検温、うがい手洗い励行、うがい手洗いの指示をして欲しい。未履修部分の指導をしっかりとって欲しい。

過度の負担にならない程度に、学校だより、学級だよりを出して欲しい。学級だよりをだしていると保護者からのクレームが少ない。多くの情報を各家庭に伝えて欲しい。

#### 校長先生、教頭先生方に留意していただきたいこと

新規採用教員 11 名、若返り、ベテランの技を引きついで欲しい。スマホ、不登校、いじめ等子どもたちの環境の変化に学校経営で対応して欲しい。

#### 大河原町の教育の重点

これまでも取り組んできた生きる力の 3 つの要素、「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」をバランスよく身に付けた人材の育成。知徳体のバランスの取れた子供たちが大人になって欲しい。

#### その他

今年度以降に実施する事項。コミュニティスクール・防災教育・GIGA スクール構想・トイレの洋式化・大河原中学校屋内運動場の改修・ALT の増員・部活動指導員の導入が予定されている。

#### 社会教育

今年度、地域学校協働本部を設置し、学校運営協議会（コミュニティスクール）との両輪として地域と学校をつなげ、子供と地域をつなげ、盛り上がりを図っていききたい。

生涯学習課関係の事業への参加も要請。

### **入学式等の取り扱いについて**

感染症対策を充分に行い、各校の実態に合わせて、実施してもらった。入学式は保護者と子供で行った。卒業式は保護者不参加のところもあったが、学校規模のリスクの違いによる。

### **先生へのメッセージ**

全国学力テストの中止は残念である。小学校は5年連続で全国値を超えていたのだ。

本の貸し出し状況。読解力を高めるのに重要。前年度との比較で大河原中学校は冊数は少ないが倍になった。大きな変化だと思う。意識して取り組んでいる。

不登校の推移、中学校が初めて減少したのに、小学校の低学年が増えている。重点的に指導が必要で、家庭との連携を図ることが必要。

昨年度、全学級道徳授業の日を設けたが、初めていじめの認知件数が減った。各校でいじめに対する指導が行き届いてきたのではないかな。

### **コミュニティ・スクールの推進計画**

令和2年度は学校管理規則、学校運営協議会規則等を策定するために、他市町の取り組みを研究し設定。コミュニティ・スクールは令和3年度は南小学校、令和4年度は他の4校で導入したい。『内外教育』より「コミュニティ・スクールは、人事の意見も取り入れるべき。しかし、コミュニティ・スクールの設置だけではよくなるまい。努力が必要。」

### **生涯学習課の、地域学校協働本部のイメージ**

#### **初等教育資料より**

今村久美さんは、東日本大震災後女川町で子供達の学びの場を作った。「今後、社会教育、地域コミュニティが大切になってくる。」遠藤定治教育長は「あなたが、信じていることがこの先の正解にきつとなるから、思いっきりやってみてください。」と言ったそう。とても素敵な言葉である。

#### **リーダーになる先生へのメッセージ**

スタッフの協力がないと何もできない。責任は校長がとるけれども、最悪のことを想定し、最善の備えをする。それを支えるのは、周りのスタッフ。いい先生を育てることが大切。

### **教育長報告②**

#### **始業式・入学式について**

入学式の欠席者0だった。保護者の方も大切に思っている。始業式14人休んだ。コロナが心配など。全児童生徒の0.7%。保護者は良識を持って正しく恐れているのではないかな。

## 新型コロナウイルス感染症に対応した教育活動の再開等に関するQ & A

問 6、「保護者から学校を休ませたい。」に対しては合理的考えと校長が判断した場合出席停止にしてもいい。現時点では宮城県は欠席だが、今後、柔軟に対応しても良いのではないか。

問 36、運動会は実施できないのではないか。

問 43、教職員の出勤の服務について。

問 49、学習の遅れについて。学習の遅れを心配する記事が多くなってきた。これまでは、復習中心のプリントだったが、やっと教科書を配ることができたので、今後は予習や自主学習に取り組んでいく。

緊急事態宣言がなされたので、宮城県でも発出されると知事の権限で学校の休業にできるようになる。県立高校では時差をつけた登校等も中止になるかもしれない。家庭訪問は教員にリスクが及ぶ。難しい問題である。

## 中学校教科書検定結果

マスコミ報道。中学校の教科書は厚くなって重くなって参考書のようになる。教科書の採択の年になるので、公正公平になるように。教科書会社関係者と飲食等しないように。

## いじめ問題への対応

「保護者のためのいじめ解決の教科書」には、学校が落ち着いた 10 時頃に電話するとか、学校には、「子供に関する全てのもの」を開示請求するなど、保護者の味方としての取組が書いてある。こういうことに対してもしっかり事実を把握して誠実に対応すればよい。隠したり、誤魔化したりしない。

## 全学級道徳授業の日 2 年目の実施

### 不登校対策の一方策

生徒指導の 3 つの機能「共感的理解」「自己存在監感」「自己決定」。特に自己決定を不登校の子に与えて欲しい。複数の選択を与えて。その子に選ばせて欲しい。自信を持たせて欲しい。

## 学力向上の鍵は下位層の子どもの底上げを図ること

宮城教育大学の本図教授は大河原小学校を研究している。強味は低学力の底上げ。暗唱読本等の人前で発表し褒められることが自信になり他に波及していく。

## 全国学力・学習状況調査を生かした授業改善

### 学校経営等

研修を受けさせて良い先生を育てて欲しい。

教育事務所より危機管理マニュアルが見直されているか確認してほしいと言われた。大川小学校では、マニュアルの中に避難場所が明示されていなかった。避難場所等を検討して欲しい。

昨年作ったスタートカリキュラムやプログラミング教育を入れましょう。

丹羽委員	入学式の参列できなかったので、写真をいただいて、ありがたかった。
一盃森委員	新年度のスタートができたことがよかった。
丹羽委員	不登校について、以前は3歳くらいまでは母親と一緒に過ごすのが良いと思っていたが、1歳前に保育所に行ったらとても大人になった。早く社会に出すことも必要なのではないかと考えるようになった。
教育長	大河原町の不登校は県より数値が高い。
一盃森委員	不登校については、親子一緒にのケアが必要。コロナの影響によりどのようにケアできるのか。
舟山委員	新任の先生が多いが、各校何名なのか？小規模校に多く配置され、大変だったことがあるので、心配になった。
一盃森委員	66講師から本務になり同じ学校に配置された先生が多かった。
丹羽委員	新任の先生が多くなったら、学校がもめ始めるのではないか。 大小3、大中3、南小2、金小1、金中2
舟山委員	保育所の先生は親より厳しい。小さいころから、厳しくしつけるのは良いのでは。核家族については、多くの目で見ると良いのでは。
小山委員	幼稚園に最初離すのは寂しかったが、少しずつ個人の価値観から広い価値観に移っていった。優しい先生が良いと思ったが、厳しい先生がありがたかったと感じた。 学級だよりを読むと、先生と同じ気持ちになる。課題へのメッセージがあると子どもはとても喜んでいる。先生と学校の存在の大切さが身に染みてわかった。 中学校の図書館高学年の先輩がいると入りにくい。部屋があけば、勉強部屋になるようなところがあればいい。
一盃森委員	みんなが行きたくなるような図書館改革。書架も本もなかった。4階を学習活用にしてしまった、少なかった。読書環境や調べる環境の整備が必要。
丹羽先生	先輩後輩が心配ないように配慮ができればよいのでは。
教育総務課長	書架の状況を確認する。
教育長	駅前図書館との連携が必要と思っている。
生涯学習課	コロナ禍で休館になっているので、学校に行つての図書の展示等が可能かどうか検討している。駅前図書館では毎年入れ替えしている本を除籍し町民にあげているので、学校に置くことも可能ではないかと議論している。
教育長	駅前図書館と学校図書館の交流の充実を図っていきたい。
舟山委員	だいぶ前から図書館が閉まっていたが、本の貸し出しだけなど、工夫をしてほしかった。
小山委員	昨年度、授業参観日に道徳の授業をしたが今後、保護者参加型の授業もよい

教 育 長

のでは。

金ヶ瀬小学校や金ヶ瀬中学校には、保護者と一緒に行い、議論ができてきた。大河原中学校はトップバッターとして行った。今後、道徳の授業の形が変わっていくことになる。

## (2)課長報告

5月の行事予定

5月6日から学校再開、学校給食再開の予定。

5月10日まで社会教育施設、社会体育施設が休館になる。5月12日以降については、社会体育施設において大会の開催予定がされているが今後の状況により変更になる。

一 盃 森 委 員

えずこホールの閉館状況の足並みがそろっていなかった。

生涯学習課長

今後は調整する方向であった。

## 10 次回教育委員会の開催日程について

鈴木教育長 次回は令和2年5月26日（火）午後2時から定例会を開催する。

## 11 閉会宣言 午後3時45分

令和2年5月26日

署名委員

署名委員